

事務事業名	救急医療確保対策事業		所属部局	保健福祉部		単位番号	5183									
	☐ 実施計画事業		所属課室	健康増進課		課長名	桜田 正文									
			所属担当	健康企画		担当者名	斉藤 一恵									
基本政策	基本計画体系	IV 快適で心のかよいあう都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目						
政策		18 健康づくりの推進	事業区分	01	一般	0	4	0	1	0	1	0	3	0	0	7
施策		31 保健・医療の推進		☐ 国の制度による義務的事業	☐ 施設等維持管理事業											
事業期間	☐ 単年度のみ	☒ 単年度繰返 (開始年度 年度)		☐ 県の制度による義務的事業	☐ 補助金交付事業											
	☐ 期間限定複数年度 (年度)	☐ 市の制度による義務的事業		☒ その他の事業												
			法令根拠		☐ 義務化されている協議会等の負担金											
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載			事業費の主な内訳 (22年度)												
	休日夜間の急患診療体制を整備するために事業費の構成市町(南アルプス市・甲斐市・中央市・昭和町)で負担し、市民が安心して安全な生活を確保する。災害時発生時に備えて、医薬品等(備蓄)整備する			項目(細節) 金額(千円) 項目(細節) 金額(千円)												
				委託料 29,222												
				計 29,222												

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 活動	
22年度活動実績	休日・夜間の診療体制を確保した
23年度活動予定	休日・夜間の診療体制を確保する
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	
市民	
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	
休日夜間でも診療が受けられる	
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	
安心して生活できる	

⇒ ⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 医療圏内の休日の年間延べ診療日数	件
イ 医療圏内の夜間の年間延べ診療日数	件
ウ	
⇒ ⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 人口	千人
イ	
ウ	
⇒ ⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 休日診療を受けたもの	人
イ 夜間診療を受けたもの	人
ウ	
⇒ ⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア	
イ	

(2) 事業費・指標の推移

(2) 事業費・指標の推移				単位	21年度 (決算・実績)	22年度 (決算見込・実績)	23年度 (予算・目標)	24年度 (次年度計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)	最終 年度 (トータルコスト・目標)
年間 トータル コスト	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円							
			県支出金	千円	18,609	18,550	18,590	18,609	18,609	18,609	
			地方債	千円							
			その他	千円							
			一般財源	千円	10,721	10,672	10,743	10,868	10,868	10,868	
			事業費計 (A)	千円	29,330	29,222	29,333	29,477	29,477	29,477	0
	人件費	正規職員従事人数	人								
		延べ業務時間	時間								
		人件費計 (B)	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)+(B)		千円	29,330	29,222	29,333	29,477	29,477	29,477	0
活動指標		アイ	件		213.0	213.0	213.0	213.0	213.0		
		ウ	件		730.0	730.0	730.0	730.0	730.0		
対象指標		アイ	千人	72,869.0	73,014.0	7,285.0	7,285.0	7,285.0	7,285.0		
		ウ									
成果指標		アイ	人		4,662.0	4,662.0	4,662.0	4,662.0	4,662.0		
		ウ	人		4,410.0	4,410.0	4,410.0	4,410.0	4,410.0		
上位成果指標		アイ									

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	平成12年4月1日から休日夜間の急患診療体制を整備することにより、地域住民の休日及び夜間における救急医療の確保を図ることを目的として開始された
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	市民は安心して、休日、夜間の診療が受けられる
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	緊急を要さないにも関わらず休日・夜間の診療が増加している

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	☐ 取り組みしている ⇒【内容!】 ☒ 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	在宅当番医制の運営事業について、3市1町を代表して中巨摩医師会と委託契約し、休日夜間急患診療体制を実施(中巨摩医師会の所在地が代表して取りまとめる)
③ H 22年度に実施した改革改善の内容	なし

事務事業名	救急医療確保対策事業	所属部	保健福祉部	所属課	健康増進課
-------	------------	-----	-------	-----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？ 意図が上位目的に結びついているか？	☐ 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由↓】 医療の体制が確保できなければ、安心・安全な生活を確保できない
	②公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPOに委ねることは可能か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由↓】 医師会との連携が必要であるため
	③維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 適切である ⇒【理由↓】 診療体制の配分を中巨摩医師会が実施をしているため、今後の計画等も配慮できるため
有効性 評価	④成果の向上余地 事務事業のやり方・進め方を変えることで成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	☐ 向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 向上余地がない ⇒【理由↓】 休日夜間の診療数が減少するであれば、市民の診療体制の考えも含まれる。また、緊急を要さない診療でも利用するため救急車の正しい利用の普及啓発も必要である
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	☐ 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入！) ☐ 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 ☒ 類似事務事業がない
	⑥休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	☐ 影響なし ☒ 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 医師の協力がなければ、休日夜間時の診療にきたすため、診療体制の確保を休止・廃止できない ☐ 休止・廃止ができる ☒ 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 左記の理由
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由↓】 体制整備は統一で医師会が行っている
	⑧人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	☐ 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由↓】 体制整備は統一で医師会が行っている
公平性 評価	⑨受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由↓】 委託事業に参加する病院等の希望に基づいての割り振りのため

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	休日や夜間における急病にも対応できるよう体制の確保、今後も継続していく。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可		(3) 改革・改善による方向性																						
☐ 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 事業統合・連携(有効性⑤の結果) ☐ 公平性改善(公平性⑨の結果) ☐ 休止(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 成果向上(有効性④の結果) ☒ 現状維持(全評価項目で適切) ☐ 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)		<table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト水準</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果水準</th><th>向上</th><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr><tr><th>維持</th><td>☐</td><td>☒</td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td>☐</td><td></td><td></td></tr></table>				コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	☐	☐	☐	維持	☐	☒		低下	☐		
		コスト水準																						
		削減	維持	増加																				
成果水準	向上	☐	☐	☐																				
	維持	☐	☒																					
	低下	☐																						
(2) 改革改善案について		※ 廃止・休止の場合は記入不要																						
①																								
②																								
③																								
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策		(5) 事務事業優先度評価結果																						
①		成果優先度評価結果	対象外																					
②																								
③		コスト削減優先度評価結果	対象外																					